

OPERA
PALACE

Tokyo
オペラパレス

オペラパレスへようこそ

2010/2011 SEASON OPERA

W.A.モーツァルト

【全4幕／イタリア語上演／字幕付】



平成22年度(第65回)
文化庁芸術祭協賛公演

フィガロの結婚

2010年 **10/10**[日]2:00 **13**[水]2:00 **16**[土]2:00 **19**[火]6:30

Wolfgang Amadeus Mozart : Le Nozze di Figaro



2007/2008シーズン公演より Stage photo: Saegusa Chikashi



新国立劇場

NEW
NATIONAL
THEATRE
TOKYO

オペラパレス — OPERA PALACE

2010 / 2011シーズン・特別支援企業グループ

◆ 住友化学 人 TBS TOYOTA ぴあ

ボックスオフィス

03-5352-9999

<http://www.nntt.jac.go.jp/opera/>



ミヒャエル・ギュットラー

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト：フィガロの結婚【全4幕/イタリア語上演/字幕付】
LIBRETTO BY LORENZO DA PONTE MUSIC BY WOLFGANG AMADEUS MOZART LE NOZZE DI FIGARO
台本：ロレンツォ・ダ・ポンテ 作曲：ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト



アンドレアス・ホモキ



花嫁の“初夜”が伯爵に奪われる!? 天才モーツァルト不朽の名作!

世界中で愛されている人気作中の人気作。おなじみの軽快な序曲から天才モーツァルトの音楽の魅力に溢れており、「恋とはどんなものかしら」「もう飛ぶまいぞ、この蝶々」など人気アリアも満載。ホモキの緻密な演出は、登場人物の人間性を余すところなく生き生きと描き出し、本作品の本質をとらえた舞台として初演時に大いに話題を呼びました。出演者には、ヴィノグラードフ、レガッツォのほか、新国立劇場初登場となるババタナシュ、ゼーリンガーなど欧州で活躍する注目の若手歌手陣が勢揃いです。

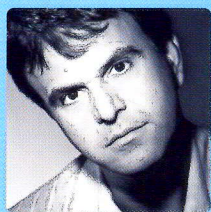
指揮：ミヒャエル・ギュットラー
CONDUCTOR: MICHAEL GÜTTLER
演出：アンドレアス・ホモキ
PRODUCTION: ANDREAS HOMOKI

美術：フランク・フィリップ・シュレスマン
SCENERY DESIGN: FRANK PHILIPP SCHLOSSMANN
衣裳：メヒトヒルト・ザイベル
COSTUME DESIGN: MECHTHILD SEIPEL
照明：フランク・エヴァン
LIGHTING DESIGN: FRANCK EVIN
再演演出：三浦 安浩
REVIVAL DIRECTOR: MIJURA YASUHIRO
舞台監督：佐藤 紀
STAGE MANAGER: SATO KIMINORI

アルマヴィーヴァ伯爵：ロレンツォ・レガッツォ
IL CONTE ALMAYVIVA: LORENZO REGAZZO
伯爵夫人：ミルト・ババタナシュ
LA CONTESSA: MYRTO PAPATANASIU
フィガロ：アレクサンダー・ヴィノグラードフ
FIGARO: ALEXANDER VINOGRADOV
スザンナ：エレナ・ゴルシュノヴァ
SUSANNA: ELENA GORSHUNOVA
ケルビーノ：ミハエラ・ゼーリンガー
CHERUBINO: MICHAELA SELINGER
マルチェリーナ：森山 京子
MARCELLINA: MORIYAMA KYOKO
バルトロ：佐藤 泰弘
BARTOLO: SATO YASUHIRO
バジリオ：大野 光彦
BASILIO: ONO MITSUHIKO
ドン・クルツィオ：加茂下 稔
DON CURZIO: KAMOSHITA MINORU
アントーニオ：志村 文彦
ANTONIO: SHIMURA FUMHIKO
バルバリーナ：九嶋 香奈枝
BARBARINA: KUSHIMA KANAE

合唱指揮：三澤 洋史
CHORUS MASTER: MISAWA HIROFUMI
合唱：新国立劇場合唱団
CHORUS: NEW NATIONAL THEATRE CHORUS
管 弦 楽：東京フィルハーモニー交響楽団
ORCHESTRA: TOKYO PHILHARMONIC ORCHESTRA

芸術監督：尾高 忠明
ARTISTIC DIRECTOR: OTAKA TADAOKI



ロレンツォ・レガッツォ



ミルト・ババタナシュ



アレクサンダー・ヴィノグラードフ



エレナ・ゴルシュノヴァ



ミハエラ・ゼーリンガー



森山京子



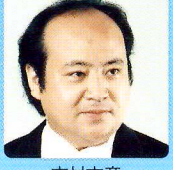
佐藤泰弘



大野光彦



加茂下 稔



志村文彦



九嶋香奈枝

定番モーツァルトの傑作を最上の上演で!——オペラを語る上で、モーツァルトは欠かすことができません。なかでも代表作「フィガロの結婚」は、総ての音に必然性があり、総てのドラマが音で表現されていて、その表現力の多様さ(可愛らしさ、崇高さ、おどけ、愛、どたばた、幸福 などなど)も桁違いであり、どこをとってもオペラの最高傑作のひとつだと思っています。

指揮のミヒャエル・ギュットラー氏はウィーン国立歌劇場などで活躍されている俊英で、モーツァルトをどう奏でるのか楽しみです。歌手陣には国際色豊かな面々が揃いました。モーツァルトといえばアンサンブルが肝心ですが、彼ら彼女らによる多彩なアンサンブルを期待しています。

私のシーズンでは「より広く、より深く、そして楽しく」をテーマに、オペラをまだ観たことがないというお客様にも足を運んでいただけるよう、オペラの定番中の定番ともいえる作品もいくつか選びました。「フィガロの結婚」はそんな定番の中でも、最もポピュラーで、馴染みやすい素敵な作品だと思います。このような定番である名オペラを質の高い上演で皆様に味わって戴く事が、大変重要と思っています。

多くの皆様に劇場に足をお運びいただければと思います。

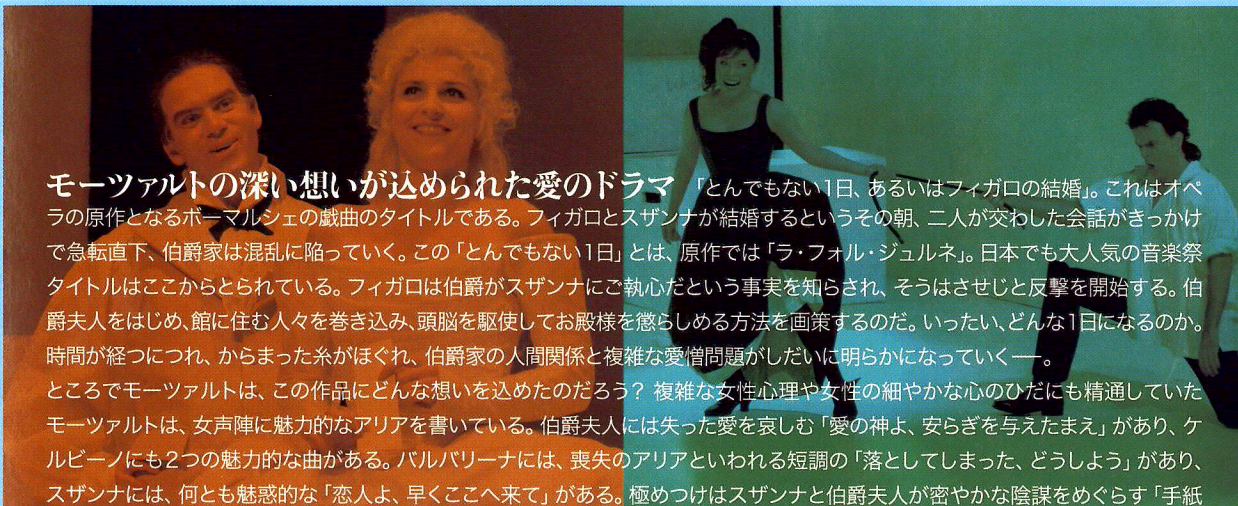
新国立劇場オペラ芸術監督 尾高忠明

【あらすじ】

もと理髪師で今はアルマヴィーヴァ伯爵の召使いフィガロは、伯爵夫人の小間使いスザンナとの結婚を控えている。初夜権(召使いの結婚の際花婿に代わって初夜を共に出来る権利)をひとたび放棄したもののスザンナに気がある伯爵はその復活を企む。一方、夫の冷めゆく愛を嘆く伯爵夫人は、フィガロ、スザンナと結託し、思春期の小姓ケルビーノを巻き込んで伯爵の鼻を明かそうと企む。伯爵はまんまと引っかかり、夫人に平謝りして全員喜びの大団円となる。



2007/2008シーズン公演より Stage photos: Saegusa Chikashi



モーツァルトの深い想いが込められた愛のドラマ

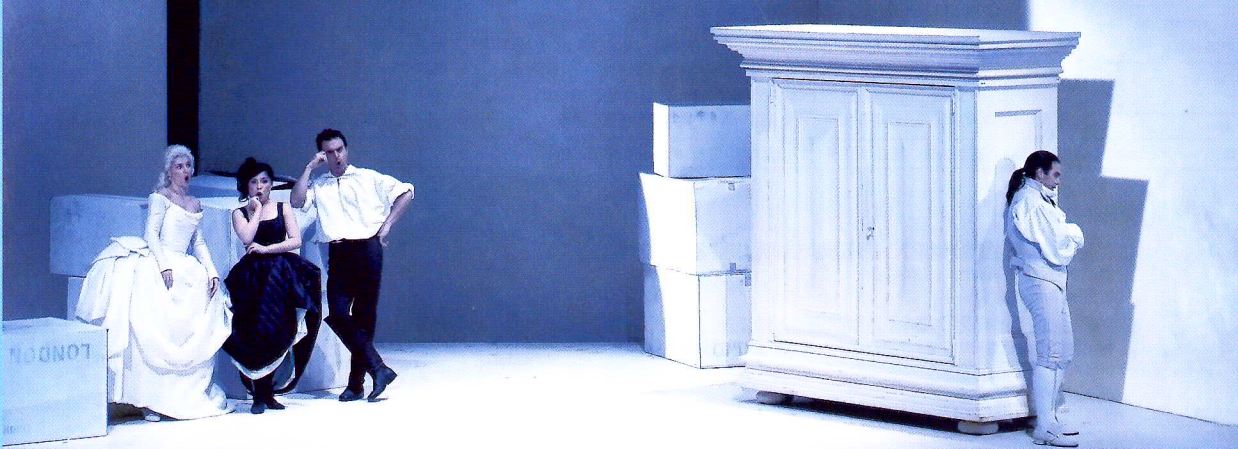
「とんでもない日、あるいはフィガロの結婚」。これはオペラの原作となるポーメルシェの戯曲のタイトルである。フィガロとスザンナが結婚するというその朝、二人が交わした会話がきっかけで急転直下、伯爵家は混乱に陥っていく。この「とんでもない日」とは、原作では「ラ・フォル・ジュルネ」。日本でも大人気の音楽祭タイトルはここからとられている。フィガロは伯爵がスザンナにご執心だという事実を知らされ、そうはさせじと反撃を開始する。伯爵夫人をはじめ、館に住む人々を巻き込み、頭脳を駆使してお殿様を懲らしめる方法を画策するのだ。いったい、どんな1日になるのか。時間が経つにつれ、からまった糸がほぐれ、伯爵家の人間関係と複雑な愛憎問題がだいたい明らかになっていく——。

ところでモーツァルトは、この作品にどんな想いを込めたのだろうか? 複雑な女性心理や女性の細やかな心のひだにも精通していたモーツァルトは、女声陣に魅力的なアリアを書いている。伯爵夫人には失った愛を哀しむ「愛の神よ、安らぎを与えたまえ」があり、ケルビーノにも2つの魅力的な曲がある。バルバリーナには、喪失のアリアといわれる短調の「落としてしまった、どうしよう」があり、スザンナには、何とも魅惑的な「恋人よ、早くここへ来て」がある。極めつけはスザンナと伯爵夫人が密やかな陰謀をめぐる「手紙の二重唱」。モーツァルトは女としての人生の喜びや哀しみやあらゆる官能性までを、女性たちへの憧憬と慈しみを込めて描いたのではないだろうか。

一方男声陣には、フィガロの「もう飛ぶまいぞ、この蝶々」や第4幕の「よく目を開けてみる」。また伯爵にも「わしが溜息をついている間に」という独白が第3幕にあるが、いずれも「怒り」が色濃く込められている。美しい旋律をゆったり歌う女声陣に比べて、男声のアリアには疎外された悲しみや怒りが感じられる。もしかしたら、世間から正当に評価されない、モーツァルト自身の想いが込められているのかもしれない。

今回の公演は2003年、2005年、2007年に続く再演で、指揮者も歌手たちも新しい顔ぶれが並ぶ。指揮者のミヒャエル・ギュットラーは今年ウィーン国立歌劇場にデビューする新進気鋭の若手。伯爵を歌うのは、前回フィガロとして活躍したロレンツォ・レガッツォ。伯爵夫人は来年ウィーン国立歌劇場にデビューが決まっているギリシャ生まれの美貌のソプラノ、ミルト・ババタナシュ。フィガロ役は07年にエスカミリーヨ役で評判になったアレクサンダー・ヴィノグラードフ。スザンナはロシア生まれのエレナ・ゴルシュノヴァ、ケルビーノはオーストリア出身のミハエラ・ゼーリンガーと、フレッシュな顔ぶれが揃う。「フィガロの結婚」はモーツァルトが30歳という最盛期に作曲した最高傑作である。その本質は、普遍的な人間を描いたドラマなのか、あるいは愛を描いたドラマなのか。それを解明するのは、演出家アンドレアス・ホモキの腕の見せどころである。

石戸谷 結子 (音楽ジャーナリスト)



主催：新国立劇場

やむを得ない事情により出演者等が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

主要キャスト・スタッフ

プロフィール
指揮：ミヒャエル・ギュットラー
ドレスデン生まれ。これまでにパリ・オペラ座、ベルリン・ドイツ・オペラ、ヴェネツィア・フェニーチェ劇場などに登場。2002年より、マリンスキー劇場の常任客演指揮者。「ニーベルングの指環」、「トリスタンとイゾルデ」、「ローエングリン」、「ドン・カルロ」、「アイダ」、「椿姫」、「フィガロの結婚」、「ドン・ジョヴァンニ」、「ナクス島のアリアドネ」、「ランメルモールのルチア」など幅広いレパートリーを誇る。新国立劇場初登場。

アルマヴィーヴァ伯爵：
ロレンツォ・レガッツォ
ヴェネツィア生まれ。これまでにウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、パリ・オペラ座、ザルツブルク音楽祭などに出演。モーツァルトとロッシーニを得意とし、「コジ・ファン・トゥッテ」、「ドン・アルフォンソ」、「ドン・ジョヴァンニ」レポレック、「チェネレントラ」アリアーノなどで好評を博している。新国立劇場には07年「フィガロの結婚」にフィガロ役で出演。

伯爵夫人：ミルト・ババタナシュ
ギリシャ・ラリサ生まれ。大学卒業後、ミラノで研鑽を積む。これまでにバイエルン州立歌劇場、モネ劇場、ローマ歌劇場、ボローニャ歌劇場などに出演。「ドン・ジョヴァンニ」、「ドン・ファン」、「コジ・ファン・トゥッテ」、「フィガロの結婚」、伯爵夫人、「後宮からの誘拐」、「コンスタンツェ」などをレパートリーとする。新国立劇場初登場。

フィガロ：
アレクサンダー・ヴィノグラードフ
モスクワ生まれ。弱冠21歳のときにポリショイ劇場でオペラデビュー。以来ベルリン州立歌劇場、レアル劇場、パリ・オペラ座、ラヴィニア音楽祭などに出演。「ドン・ジョヴァンニ」レポレック、「魔笛」ザラストロ、「セビリアの理髪師」ドン・バジリオなどをレパートリーとする。07年「カルメン」に続く2回目の新国立劇場出演。

スザンナ：エレナ・ゴルシュノヴァ
ロシア生まれ。2002年よりマリンスキー劇場のソリストとして数多くの作品に出演。他にもワシントン・オペラ、レアル劇場、ケベック・オペラなどに登場。「リゴレット」ジルダ、「ファルスタッフ」ナンネッタ、「魔笛」パミーナ、「フィガロの結婚」スザンナ、「後宮からの誘拐」コンスタンツェなどをレパートリーとする。新国立劇場初登場。

ケルビーノ：
ミハエラ・ゼーリンガー
オーストリア出身。2005/2006シーズンよりウィーン国立歌劇場の専属歌手として活躍。他にもチューリヒ歌劇場、ザルツブルク音楽祭などに出演。「フィガロの結婚」ケルビーノ、「セビリアの理髪師」ロジーナ、「ナクス島のアリアドネ」作曲家、「ニュルンベルクのマイスタージンガー」マグダレーネなどを歌っている。新国立劇場初登場。

新国立劇場 2010/2011シーズンオペラ・ラインアップ (お得で確実!シーズンセット券好評受付中。セット券のご購入は「クラブ・ジ・アトレ」のご入会がおすすめです)

<p>2010年10月全6公演 2/5/8/11/14/17 (新制作) R.シュトラウス【全3幕】</p> <p>アラベッラ</p> <p>古き良きウィーンの薫り漂う、運命の人との愛を夢見る美人姉妹の恋物語。</p>	<p>10月全4公演 10/13/16/19日 (新制作) モーツァルト【全4幕】</p> <p>フィガロの結婚</p> <p>花嫁の「初夜」が伯爵に奪われる!?天才モーツァルト不朽の名作!</p>	<p>11月全5公演 12/15/18/21/24日 ジョルダーノ【全4幕】</p> <p>アンドレア・ジュニエ</p> <p>断頭台の霧と消えた詩人ジュニエと伯爵令嬢マッダレーナの悲恋。</p>	<p>12月/2011年1月全5公演 25/28/4/7/10日 (新制作) ワーグナー【全3幕】</p> <p>トリスタンとイゾルデ</p> <p>ワーグナー至高の愛と官能の名作。待望の新国立劇場初上演!</p>	<p>2月全3公演 4/5/6日 團伊玖磨【全1幕】</p> <p>夕鶴</p> <p>つうの哀しみが胸深く染み渡る。国民的人気を誇る日本オペラの代表作。</p>	<p>2月全5公演 14/17/20/23/26日 ヴェルディ【全3幕】</p> <p>椿姫</p> <p>社交界の華と純朴な青年の純い純愛。純愛オペラの決定版!</p>	<p>3月全6公演 15/18/21/24/27/30日 (新制作) プッチーニ【全4幕】</p> <p>マン・レスコー</p> <p>狂おしいまでに愛された美少女マンの物語。プッチーニの出世作。</p>	<p>4月全6公演 7/10/13/16/19/22日 R.シュトラウス【全3幕】</p> <p>ばらの騎士</p> <p>豪華絢爛なウィーンの煌めき。オペラの醍醐味これに極まる!</p>	<p>5/6月全5公演 29/2/5/8/11日 (新制作) モーツァルト【全2幕】</p> <p>コジ・ファン・トゥッテ</p> <p>貴方の恋人は誠実?モーツァルトによる恋愛コメディを新制作で。</p>	<p>6月全5公演 6/9/12/15/18日 プッチーニ【全2幕】</p> <p>蝶々夫人</p> <p>愛を信じ、愛ゆえに死を選んだ蝶々さんの悲劇。涙を誘う感動作。</p>
--	--	---	--	--	--	---	---	--	---

<p>指揮 ウルフ・シルマー 演出 フリップ・アルロー 衣装 森英恵 出演 アラベッラ:ミヒャエラ・カウネ/ズデンカ・アグネーチ・ムンク/ラスムッセン/マンドリカ・トーマス・ヨハネス・マイヤール/マッテオ:オリヴァー・リンゲルハーン 管弦楽 東京フィルハーモニー交響楽団</p>	<p>指揮 ミチャエル・ギョットラー 演出 アンドレス・ホモキ 出演 アルマヴィーヴナ伯爵:ロンソフ・レガツツ/伯爵夫人:ミルト・ババタナシュ/フィガロ:アレクサンダー・ヴィ/グラードフ/ズザンナ:エレナ・ゴルシュン/ヴァ/ケルビー:ミヒャエラ・ゼー・リンガー 管弦楽 東京フィルハーモニー交響楽団</p>	<p>指揮 フレデリック・ジャスラン 演出 フリップ・アルロー 出演 アンドレア・ジュニエ:ミハイル・アガフオノフ/マッダレーナ:ノルマ・ファンティーニ/ジュラル:アルベルト・ガザール 管弦楽 東京フィルハーモニー交響楽団</p>	<p>指揮 大野和士 演出 テイワッド・マクウィカー 出演 トリスタン:ステファン・グールド/マルケ王:ギド・イェンティンズ/イゾルデ:イレーネ・テオリン/クルヴェナール:ユッカラ・ラジライネ/ブランドゲネ:エレナ・ツイトコワ 管弦楽 東京フィルハーモニー交響楽団</p>	<p>指揮 高岡 健 演出 栗山民也 出演 釜河祐子/ 暖感満美 与ひょう/ 経種廉彦/小原啓楼 運ず:/ 工藤 博/谷 友博 数多:/ 峰 茂樹/島村武男 管弦楽 東京交響楽団</p>	<p>指揮 広上淳一 演出 ルーカ・ロンコーニ 出演 ヴィオレッタ:パトリシア・アチョーフィ/フランフレード:ウーケン・キム/ジュエルモン:ルチオ・ガッロ 管弦楽 東京交響楽団</p>	<p>指揮 リック・フリッツァ 演出 ジルベール・デフロ 出演 マン・レスコー:スヴェトラ・ヴァッシレヴァ/デ・グリュウ:グスターヴォ・ポルタル/レスコー:ダリボル・イェニス 管弦楽 東京交響楽団</p>	<p>指揮 クリストファン・アルミンク 演出 ジョナサン・ミラー 出演 元帥夫人:カミラ・ニールト/オックス男爵:フランツ・オラト/オグタヴィアン:ダニエラ・シンドラム/フアーニナル:ペーター・エーデルマン/ノイ:アニー・ニーナ・バーマン 管弦楽 新日本フィルハーモニー交響楽団</p>	<p>指揮 パオロ・カリニャーニ 演出 ダミアノ・ミキエレット 出演 フィオレディージ:アンナ・サムイル/ドラベッラ:ダニエラ・ビニ/デスピナ:エレナツ・アラゴワ/ナフェルラント:デミトリ・コルチャック/グリエルモ・アドリアン・エレート/アンソル・ファン・ロマン・トールケル 管弦楽 東京フィルハーモニー交響楽団</p>	<p>指揮 イヴ・アペル 演出 栗山民也 出演 蝶々夫人:クリスティーネ・オポライス/ピンカント:ズラントロヴィッチ/シャープレス:甲斐栄次郎 管弦楽 東京フィルハーモニー交響楽団</p>
---	---	---	--	---	--	--	---	--	--

新国立劇場のとうておき



シアターショップ

劇場関連グッズ、公演プログラムや公演写真(オペラ・バレエ)を販売しています。オペラ/バレエ公演日を中心に営業いたします。ぜひお立ち寄りください。一部商品はWebシアターショップからもお求めいただけます。パソコンから <http://www.theatreshop.jp/>



ご来場の思い出に、プレゼントに、クマのぬいぐるみはいかがですか。リボンは新国立劇場オリジナルのデザインで、音符模様のオペラバージョンは黒・青・赤の3種類、バレエバージョンはピンクのみ。好評発売中!
大: 2,100円
小: 680円

2010/2011シーズンガイド完成

オペラ、バレエ、コンテンポラリーダンス、演劇の公演情報と劇場施設に関する便利な情報満載のガイドブックが完成しました(無料)。各劇場インフォメーションカウンターまたはボックスオフィスにて配布しております。どうぞご利用ください。



前売開始 2010年6月12日(土)10:00~
Booking Opens from Sat.12th Jun. 2010 10:00am

ボックスオフィス 03-5352-9999

Webボックスオフィス(PC、携帯共通) <http://www.pia.jp/nntt/>

携帯版ボックスオフィスはこちらから→ 

チケット取り扱い (D席のお取り扱いにはボックスオフィスとチケットのみです。)

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード 347-379)
インターネット予約 <http://pia.jp/tc> (PC & 携帯)

イープラス <http://eplus.jp/> (PC & 携帯)

チケットWeb松竹 <http://www1.ticket-web-shochiku.com/p/> (PC)

CNプレイガイド <http://www.cnplayguide.com/> (PC & 携帯)

ローンチケット 0570-000-407 (Lコード 31702) <http://1-tike.com/> (PC & 携帯)

東京文化会館TS 03-5685-0650

JTB・近畿日本ツーリスト・日本旅行・トップツアー (ほか)

■座席と料金(税込) オペラバレエ 1,792席

上質のオペラを納得のプライスで。

- S席 21,000円
- A席 15,750円
- B席 10,500円
- C席 6,300円
- D席 3,150円
- Z席 1,500円(※2)



※1 発売初日に限り、D席のお申し込みは1人合計2枚まで。
※2 Z席42席は、公演初日に先かけて全日程各20枚を新国立劇場Webボックスオフィス(PC & 携帯)にて抽選販売いたします。抽選販売の残席と22席を公演当日ボックスオフィスにて一般発売。いずれも1人1枚、電話予約不可。

「フィガロの結婚」Z席Web抽選販売のスケジュールは以下の通りです。

Z席 Web抽選受付期間	2010/10/7 (木) 11:00-10/8 (金) 11:00
Z席 Web抽選結果発表	2010/10/8 (金) 18:00頃

託児室<キッズルー>『ドレミ』 各公演一般発売日より受付開始。来場予定日の1週間前までに下記まで電話予約、定員制。■利用料金:0~1歳2,000円/2~12歳1,000円 ■ご予約・お問合せ:㈱小宮館集英社プロダクション HAS総合保育事業部 0120-500-315 (土日祝を除く午前10時~午後5時)

■公演日程(フィガロの結婚) 託児室利用可能日

2010 Oct	10/10 [日]	13 [水]	16 [土]	19 [火]
開演時間	2:00	2:00	2:00	6:30

●予定上演時間:約3時間15分(休憩含む)
●開演は開演の45分前 ●開演後は入場制限をいたします。
※10/13(水)は1・2・4階の一部に学校団体が入る予定です。

■割引等のご案内

- 高年齢者(65歳以上)、学生、障害者、ジュニア割引がございます。ボックスオフィスにてお申し込みの際に、割引ご利用の旨お知らせください。(高年齢者・学生割引はチケットが一部店舗でもご利用いただけます。他のプレイガイドでは受付できません。それぞれ、年齢を確認できるもの・学生証・障害者手帳が必要になります。)
- 開演後、S席に残席がある場合、割引価格にて、1回目の休憩後よりご観劇いただけます。
- 当日学生割引(50%割引)/D席・Z席を除く:公演当日のみボックスオフィスとチケットが一部店舗で販売。1人1枚。電話予約不可。要学生証。
- 車椅子をご利用のお客さまはボックスオフィスまでお問い合わせください。

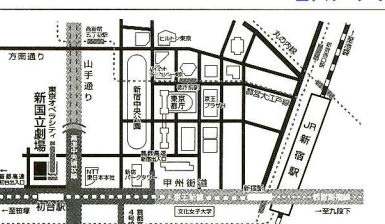
■備考

- 就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。お子様も1人1枚チケットをお求めください。
- 壁際、手摺の近く、バルコニー、上層階の一部のお座席で、舞台・字幕が見えにくい場合がございます。ご了承ください。
- 公演日・席種によっては、お求められない場合がございます。公演中止の場合を除き、チケットの変更・払い戻しはいたしません。

■グループでのお申し込み10名以上でご観劇の場合は新国立劇場営業部(TEL 03-5352-5745)までお問い合わせください。

交通のご案内

- 京王新線(都営新宿線乗入)新宿駅より1駅、初台駅中央口直結。KEIO NEW LINE, HATSUDAI STATION (京王線は止まりません。)
- 山手通り、甲州街道交差点。首都高速4号線新宿出口・初台出口すぐ。劇場地下に駐車場があります。ご観劇の際は、駐車料金を割引いたします。(詳しくは当日、劇場受付にてお問い合わせください。)



新国立劇場

NEW NATIONAL THEATRE TOKYO

〒151-0071 東京都渋谷区本町1-1-1 TEL.03-5351-3011
NEW NATIONAL THEATRE, TOKYO/1-1-1 HON-MACHI, SHIBUYA-KU TOKYO JAPAN